

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年8月10日

【四半期会計期間】 第89期第1四半期
(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 江口 達夫

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田 弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田 弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第1四半期 連結累計期間	第89期 第1四半期 連結累計期間	第88期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	4,845,543	5,014,505	19,177,731
経常利益 (千円)	431,719	439,451	1,614,778
四半期(当期)純利益 (千円)	304,278	238,236	1,006,737
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	201,205	276,141	890,681
純資産額 (千円)	11,647,281	12,373,018	12,425,922
総資産額 (千円)	17,848,844	18,477,129	17,844,191
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	11.50	8.90	37.87
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	65.3	67.0	69.6

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4 第88期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間における、当社グループ(当社並びに当社の子会社及び関連会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、輸出や設備投資が減速し、個人消費についても低調に推移いたしました。また、原発事故を契機とした全国的な電力供給問題などにより、景気は先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループは、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組むとともに、機能性食品素材「イヌリン」の拡販、新たな素材の研究開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,014百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益372百万円（同7.1%減）、経常利益439百万円（同1.8%増）となり、特別損失として投資有価証券評価損71百万円など総額80百万円を計上した結果、四半期純利益は238百万円（同21.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖事業

精糖事業の業績は、売上高3,356百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益384百万円（同7.2%減）となりました。売上面では、夏場の電力供給問題からの前倒し需要もあり、飲料及び乳製品向け等が好調に推移し、販売数量は前年同期比で増加いたしました。損益面では、需要増により稼働率は向上しましたが、原材料価格及びエネルギーコストの上昇などにより、前年同期比で減益となりました。

機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高1,504百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益31百万円（同20.6%増）となりました。売上面では、機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品ユーザーの脂肪代替商品が前期後半より引き続き好調に推移した結果、前年同期比で大きく販売数量を伸ばしました。しかしながら、連結子会社ユニテックフーズ(株)でのOEM関連事業が東日本大震災の影響等により減収となりました。損益面では、イヌリンの増収による収益改善や各部門においてコスト削減に努めた結果、前年同期比で増益となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高153百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益132百万円（同1.3%減）となりました。本社ビルの一部が空室となったため、若干ながら前年同期比で減収減益となりましたが、安定収益の確保に貢献いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3.5%増加し、18,477百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ9.6%増加し、7,908百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、10,568百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金資産の減少等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ20.9%増加し、4,344百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ3.6%減少し、1,759百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0.4%減少し、12,373百万円となりました。これは主に四半期純利益を計上したものの、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、15百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株であり ます。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年6月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,978,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,276,000	26,276	
単元未満株式	普通株式 494,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		26,276	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれておりません。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,978,000		2,978,000	10.01

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,119	1,669,455
受取手形及び売掛金	1,750,397	1,838,250
有価証券	322,050	322,055
商品及び製品	1,220,131	1,461,270
仕掛品	127,079	165,871
原材料及び貯蔵品	1,284,726	1,325,584
その他	940,434	1,131,480
貸倒引当金	5,368	5,314
流動資産合計	7,215,571	7,908,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	725,433	711,600
機械装置及び運搬具（純額）	143,657	135,104
土地	2,048,834	2,048,834
その他（純額）	51,257	60,880
有形固定資産合計	2,969,183	2,956,420
無形固定資産		
のれん	1,009,765	982,768
その他	60,147	58,358
無形固定資産合計	1,069,912	1,041,126
投資その他の資産		
投資有価証券	3,927,798	3,947,154
その他	2,759,907	2,708,366
貸倒引当金	98,181	84,592
投資その他の資産合計	6,589,523	6,570,927
固定資産合計	10,628,619	10,568,474
資産合計	17,844,191	18,477,129

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	809,033	1,452,458
短期借入金	1,826,364	1,823,360
未払法人税等	220,507	46,844
賞与引当金	114,914	56,259
役員賞与引当金	13,820	3,070
その他	609,044	962,423
流動負債合計	3,593,683	4,344,415
固定負債		
長期借入金	731,075	708,162
退職給付引当金	441,001	419,932
役員退職慰労引当金	133,899	126,747
資産除去債務	53,693	53,829
持分法適用に伴う負債	16,313	16,313
その他	448,602	434,710
固定負債合計	1,824,585	1,759,694
負債合計	5,418,268	6,104,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,249	2,524,249
利益剰余金	8,926,603	8,843,608
自己株式	732,754	740,569
株主資本合計	12,242,558	12,151,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,948	226,225
繰延ヘッジ損益	3,583	4,956
その他の包括利益累計額合計	183,364	221,269
純資産合計	12,425,922	12,373,018
負債純資産合計	17,844,191	18,477,129

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,845,543	5,014,505
売上原価	3,657,052	3,862,811
売上総利益	1,188,490	1,151,693
販売費及び一般管理費	787,898	779,473
営業利益	400,592	372,220
営業外収益		
受取利息	13,412	12,604
受取配当金	23,314	21,219
持分法による投資利益	8,375	43,672
その他	6,904	4,879
営業外収益合計	52,006	82,375
営業外費用		
支払利息	9,881	9,128
匿名組合投資損失	10,076	5,105
その他	921	910
営業外費用合計	20,879	15,145
経常利益	431,719	439,451
特別利益		
投資有価証券売却益	1,530	-
特別利益合計	1,530	-
特別損失		
減損損失	2,212	9,125
投資有価証券評価損	-	71,316
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,908	-
その他	1,660	-
特別損失合計	39,780	80,441
税金等調整前四半期純利益	393,469	359,009
法人税、住民税及び事業税	40,139	59,307
法人税等調整額	49,051	61,465
法人税等合計	89,190	120,772
少数株主損益調整前四半期純利益	304,278	238,236
四半期純利益	304,278	238,236

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	304,278	238,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,779	39,277
繰延ヘッジ損益	293	1,372
その他の包括利益合計	103,072	37,904
四半期包括利益	201,205	276,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,205	276,141
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
偶発債務 (債務保証) 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖(株) 947,000千円 南栄糖業(株) 122,413千円 なお、上記南栄糖業(株)に対する債務保証のうち、16,313千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。	偶発債務 (債務保証) 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖(株) 908,333千円 南栄糖業(株) 122,413千円 なお、上記南栄糖業(株)に対する債務保証のうち、16,313千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費 31,735千円	減価償却費 30,788千円
のれん償却額 26,997千円	のれん償却額 26,997千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月14日 取締役会	普通株式	264,642	10.00	平成22年3月31日	平成22年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	321,231	12.00	平成23年3月31日	平成23年6月3日	利益剰余金

(注) 普通配当 10.00円 記念配当 2.00円

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成 22年 4月 1日 至 平成22年 6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,102,811	1,584,883	157,848	4,845,543		4,845,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,560	581	277	4,420	4,420	
計	3,106,372	1,585,465	158,125	4,849,963	4,420	4,845,543
セグメント利益	414,520	25,763	134,537	574,822	174,229	400,592

(注) 1 セグメント利益の調整額174,229千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,356,130	1,504,623	153,751	5,014,505		5,014,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,400	127	277	3,805	3,805	
計	3,359,530	1,504,751	154,028	5,018,311	3,805	5,014,505
セグメント利益	384,548	31,071	132,729	548,349	176,129	372,220

(注) 1 セグメント利益の調整額176,129千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11.50円	8.90円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	304,278	238,236
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	304,278	238,236
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,463	26,757

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年5月20日開催の取締役会において、平成23年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主に
 対し、次のとおり期末配当を行うことを決議しました。

配当金の総額	321,231千円
1株当たりの金額	12.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年6月3日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 4日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 町 田 恵 美

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 澄 直 史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。